

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【公開番号】特開 2000-157514 (P2000-157514A)
 【公開日】平成 12 年 6 月 13 日 (2000.6.13)
 【出願番号】特願 平 11-334374
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055 (2006.01)
G 0 1 R 33/34 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 5 5
 G 0 1 N 24/04 5 2 0 Y

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 11 月 27 日 (2006.11.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】それぞれが直交する 2 チャンネルの一方となる一対の入れ子状の導電性コイルと、

撮影対象人体の所定部位を受け入れるように適合された前記入れ子状の導電性コイル内の開口部と、
 を具備し、

前記一対のコイルのそれぞれは、それぞれが 2 つの隣接するコイル巻線部を有する 2 つの平行な直線部を有し、該直線部は前記開口部の周辺にほぼ等間隔に配列され、
 直線部は前記開口部の周縁部を形成する弓状部に接続されること、
 を特徴とする磁気共鳴イメージング装置用の直交コイル装置。

【請求項 2】前記開口部を覆うプリント配線部をさらに具備し、
 前記弓状部は当該プリント配線部上に形成されていること、
 を特徴とする請求項 1 記載の直交コイル装置。

【請求項 3】前記各コイルが有する第 1 及び第 2 の直線部は、前記弓状部が含まれる平面に垂直に配置されていることを特徴とする請求項 1 記載の直交コイル装置。

【請求項 4】前記各伝導性コイルが有する前記各弓状部は半円形であり、前記開口部を囲む円を形成するように配置されていること、
 を特徴とする請求項 1 記載の直交コイル装置。

【請求項 5】それぞれが少なくとも 2 つの巻線部を有し、直交する 2 チャンネルの一方となる一対の入れ子状の導電性コイルと、

撮影対象人体の所定部位を受け入れるように適合された前記入れ子状の導電性コイル内への開口部を有する第 1 のプリント配線基板と、
 を具備し、

前記各コイルは 2 つの直線部を有し、各直線部は少なくとも 2 つの隣接するコイル巻線部を有し、該コイル巻線部は前記プリント配線基板に直交し、前記開口部の周辺にほぼ等間隔に配列され、前記プリント配線基板上の弓状の配線部に接続されることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置用の直交コイル装置。

【請求項 6】前記第 1 の開口部と略同軸な第 2 の開口部を備え、前記コイル巻線部を接続する弓状の配線部を有する第 2 のプリント配線基板をさらに具備すること、を特徴

とする請求項 5 記載の磁気共鳴イメージング装置用の直交コイル装置。

【請求項 7】 前記弓状部は前記プリント配線基板の両面に設けられることを特徴とする磁気共鳴イメ請求項 5 記載の直交コイル装置。

【請求項 8】 前記弓状部は前記第 1 プリント配線基板の開口部を囲む環を形成するように接続されていることを特徴とする請求項 5 記載の直交コイル装置。